

「働きたい! 応援団 ぎふ」

創設当初から継続してサポートをしていただき、
推進企業表彰を受けた企業を紹介します。



登録番号47 株式会社サン・シング東海

代表取締役 神田 伸一郎
揖斐郡大野町西方732番地の1



○障がい者の就労支援を継続して

縁があって当社に入社された障がい者の方々に、一刻も早く戦力として働いてもらえることを目的として就労支援を始めました。具体的な支援方法としては、複数の業務を習得してもらう「多能工化」の取組と、旅行や食事会等、福祉厚生施策の充実により健常者と障がい者が一緒になって行動できる仕組みづくりでの「モチベーションの向上」が挙げられます。これらの活動により、5年間で35%もの生産性向上を図ることができました。

○支援のポイント

支援のポイントとしては「指導・育成を如何に図るか」で、まず初めに指導員自らが仕事をやってみせ、次に障がい者に実際にやらせてみせ、そこで少しでもできたことを褒めることと考えております。多少時間は掛かりますし程度の差こそありますが、どなたも着実にスキルアップが図れます。また、配慮としては、疎外感を感じさせないよう常に言葉掛けやハイタッチ等で一人にさせないこと、ご家庭との連携を深めることを心掛けております。

○仕事を続けて

【卒業生氏名】土田 卓永さん

【出身校】揖斐特別支援学校 【就労年数】4年

勤務は土日、祝日と決まったお休みが取れるので、行動予定も立てやすく元気に働くことができます。敷布団の和綴じ縫製や検針による製品チェック、製造布団の代車積み等、多くの業務を任せられており、自分が必要とされていると実感できます。台車に布団を積み際にバランスを崩して布団を落とさないように気を付けています。

登録番号81 KYB株式会社

常務執行役員岐阜地区渉外 畠山 俊彦
可児市土田2548



○障がい者の就労支援を継続して

企業の社会的責任として障がい者の雇用を継続していますが、この取組の中で法定雇用率の遵守にとどまることなく、より積極的に地域社会に貢献していきたいと考えております。雇用しているみなさんは、真面目で決まりや指示を確実に守って取り組んでくれています。また、一緒に働く中で社内の障がい者に対する理解が深まっています。

○支援のポイント

地域の特別支援学校から就業体験を受け入れ、1週間から2週間の実習を行うことで実際の作業に馴染めるかを判断して雇用しています。受け入れ時には配慮事項等をまとめたマニュアルを用いて対応できるようにしています。

入社後は障がい者の特性に合わせて作業内容を習得できるようにサポート体制を整えて支援しています。一つの職場でも様々な作業があるため、グループ長を中心としてジョブコーチによる指導やアドバイスの支援等のサポートを行っています。職場では事前に障がいについての特性や配慮事項等を説明し、共通理解のもとでサポートが行えるように障がいのある方が働きやすい環境を整えています。

○仕事を続けて

【卒業生氏名】遠藤 優稀さん

【出身校】可茂特別支援学校 【就労年数】3年

仕事をする時に気を付けていることは、左右確認、一時停止等、決められたルールを守ることです。部品の確認の作業をしていますが、一つでも間違えるとクレームになってしまうので、責任がある仕事だとわかり、やりがいを感じています。わからないところがあると職場の人が親切に教えてくれるので、この仕事を続けていて良かったと思います。

推進企業紹介

登録番号20 東和組立株式会社

代表取締役 板津 幹彦
美濃加茂市川合町4丁目5番2号



○障がい者の就労支援を継続して

昭和46年に聴覚障がい者を雇用したのが始まりになりました。その後は、近隣の特別支援学校から職場実習を受け入れ、年に1名は卒業生を受け入れるようにしています。障がい在工作上に影響しない配置や方法を探していくなかで職場分析が進み、他の社員にとっても仕事のしやすい配置や方法を見付けていくことができました。

○支援のポイント

一人ひとり障がいや能力も異なるので、その特性を実習等で理解し、個人に合わせた支援を行っています。奥村さんの場合は、小柄で体力的な心配があり、また、公共交通機関による通勤時間も長かったことにより、半日のトライアル雇用から週30時間のパート勤務、フルタイム（残業あり）へと段階を踏んでいくことにより、自信を付けてもらいました。

○仕事を続けて

【卒業生氏名】奥村 拓三さん
【出身校】各務原養護学校 【就労年数】8年
塗装された製品を箱詰めする仕事をしています。製品に傷がつかないように気を付けています。職場の人は優しい人が多く、休み時間には楽しく会話ができ、この会社に入れて良かったなあと思いました。今は自動車を買うお金を貯めていて、今年中には買えそうです。

登録番号40 TOTOウォシュレットテクノ株式会社 土岐工場

執行役員 土岐工場長 二村 馨
土岐市泉町大富字北山1916-165



○障がい者の就労支援を継続して

わたしたちは、ウォシュレットに携わる全ての人々がやりがいをもって、継続的に働ける安全・安心な職場をつくることを会社の方針に掲げています。法的な義務だけでなく、障がいのある人が障がいのない人と同様、その能力と適性に応じた業務に就き活躍できる職場づくりを目指し、様々な取組を進めていきたいと考えています。

○支援のポイント

社内（総務課・製造課）に職場定着に不可欠な存在の「障がい者職業生活相談員資格認定講習受講者」及び「職場適応援助者（ジョブコーチ）養成研修受講者」を配置しています。先輩社員のエルダー（生活相談員）が作業指導及び社内での相談対応を行って、障がいのある方にも安心して仕事に励んでもらっています。また、障がい者就業・生活支援センターと連携して職場内外のサポートを定期的に行っています。

○仕事を続けて

【卒業生氏名】酒井 克真さん、中西 彩夏さん
【出身校】東濃特別支援学校 【就労年数】4年
酒井：補修品で組立作業をしています。細かい部品は苦手ですがミスしないように作業しています。体調管理に気を付け毎日の作業に励んでいます。
中西：補修品で梱包・組立作業をしています。間違えないことを心掛けて作業しています。仕事は楽しいので、まわりの人に教えてもらい頑張っています。

登録番号55 日本耐酸塩工業株式会社

代表取締役社長 堤 健
大垣市中曾根町610番地



○障がい者の就労支援を継続して

特別支援学校の卒業生は、皆さん大変素直でひたむきに仕事に取り組んでくれており、こうした姿勢は健常者の社員にとって良い刺激になっています。職場では、障がい者であっても効率的に作業を進めることができるための改善や工夫が、積極的に行われるようになってきました。

○支援のポイント

当社で働いている特別支援学校の卒業生の皆さんは、在学中に企業内作業学習で当社を訪れています。入社後に行う実際の作業や通勤、職場での雰囲気や実感できるため、当社で働くイメージを描きながら入社することができ、定着率も非常に高くなっています。また、一緒に働く社員にとっても実習を通じて個性を的確に把握でき、担当してもらう作業の内容や支援の方法について、入念に準備をすることができます。

○仕事を続けて

【卒業生氏名】谷本 正徳さん
【出身校】大垣特別支援学校 【就労年数】4年
社員の皆さんが着用する作業服の洗濯や、厚生施設の清掃を主に担当しています。皆さんに気持ちよく作業服や厚生施設を使ってもらえるように心掛けて日々の仕事に務めています。「いつもきれいにしてくれてありがとう」と言葉を掛けてくれる方もおり、やりがいを感じています。